

大政類典

用難ノ不隈無上ノ御都合ト被存候間今日於干御次  
定相成度尤モ巨額改製ノ成ニテ素ヨリ一朝一夕シテ奏功可致事ニ舞之誤間交換ノ後ミ其製造ノ成ルニ從ニ漸次交換取計可申前顯御制可ノ上ハ尙難形并ニ彩色等ノ詳細取調更ニ可相同候仍于此段相伺候也七月廿九日大藏

同之通八月十日

第五科戻按大火屢查

別紙大藏省同紙幣改製文換着手ノ儀具陳ノ趣旨按候處右ノ該首票譲ノ通改製交換可然ト存候間同ノ趣御聞角可相成裁左ニ御指令按取調相同候也八月一日大藏

四月十三日

改造紙幣雛形ヲ定ム

大藏省同

紙幣改造大交換着手ノ儀去明治九年七月中相伺候處同八月同ノ通御制可相成爾來紙幣局於テ右改製ノ方法為取調候處今般取調出來ノ趣ヲ以紙幣局長ヨリ別紙ノ通申出候ニ付熟慮候處紙幣ノ功用ハ質造謹防ノ方法十分相立奸徒不良ニ念ニ杜絕致候儀肝要ニ有之殊ニ寫真寫入ノ儀ハ別紙陳述ノ如ク最以緊要ノ眼目ト被存候間紙幣局長申出ノ通御制可相成度依テ別紙相添此段相伺候也二月廿一日大藏

同ノ趣間届候事

但雜形表面中弊如レニ互市ニテ改メテ（知テ）ニ作

十一

大文貞典

レヘレ四月十三日

紙幣局伺 大藏省究

新紙幣ノ儀ハ外國良工ノ手ニ成リ彩紋、緻密等ニ  
於テハ微妙ヲ極メ候、共畢竟画紋ノミニ止、他ニ  
防偽、秘法等無之事故必定偽造、害ヲ來スヘクト  
豫テ苦慮罷在既、換紙幣交換ノ隊備札製造ノ為外  
國人等雇入盡力罷在候處今日漸ク其目的ヲ達レ  
刻製肉刷印抄紙調查等、諸術其緒ニ付且工場諸規  
則等大々相立候際新紙幣質造及金員描改等、弊追  
々相生候ニ付紙幣改造大交換着手、儀太政官ヘ御  
同濟相成候間萬ト新紙幣、便否得失ヲ斟酌商議致  
レ且豫テ購集致レ置候外國諸紙幣等參考專ニ質造  
標防、方法ヲ設ケ別記、通製造法取調候ヘ共形刻

、術ニ於テ質造豫防、茅一トスル要法ハ寫真彫刻  
ニ勝ルモノ無之故ニ外國ノ紙幣ハ多ク國王、寫眞  
ヲ鶴入有之然ルニ此際折角改造候テモ茅一、要法  
トスル寫真相缺候テハ防偽、術十不難相立此上尚  
質造、弊有之候テハ改造、誼無之ノミナラス紙幣  
ノ信用ヲ相失後害不少存候ニ付雖形表面右方ニ有  
之摺國ノ中ハ寫真彫刻致度候處可然寫真モ無之然  
ルニ皇國貨幣ノ濫觴ハ上古渺邈難相分候、昔日本  
記、中神功皇后攝政ノ時ニ當リ三韓ヨリ金銀ヲ貢納  
スルノ明文有之候間金銀ノ貴重スヘキヲ了知スル  
、微証ト被考候因テ古書ニ據リ右尊影ヲ想像摸寫  
レ防偽、秘法相設置度前陳、次茅御制可相成候様  
太政官ヘ御上申相成度因テ別記并離形相添此段相

伺候也 二月十七日

紙幣改造ニ付前後ノ得失ヲ比較シ防僨ノ方法ヲ

確定スルノ辨

紙

一紙質ハ布屑ノ機械漉ナルヲ以テ其質脆弱ニシテ  
久々耐ヘ難ク發行期年ニ至ラサルニ毀損甚多  
ク行用不便ニシテ最モ質造ニ便ナリ

紙質ハ本邦固有ノ特殊美良ナル元贊ヲ撰ミ手  
療術ヲ以テ暗章ヲ施シ適度ノ壽命数抄造レ其  
紙カツ堅致ニレ毀損、憂ナフ久キニ耐ヘレメ  
以テ質造ヲ防キ行用ニ便ナラニハ

一百圓、五拾圓ニ拾圓ノ五圓、或圓ノ壹圓、五拾錢、或  
拾錢拾幾、於ケル各其寸法ヲ同クスルヲ以テ描

改ノ弊ナリ

各種其寸法ヲ異ニシテ種類ノ區別ヲ判然タ  
ラシメ描改ノ要ヲ絶ツ

一尋常ノ裁法ナルヲ以テ一齊ナラス

一殊ノ裁法ヲ以テ各種其方ヲ異ニシテ符合ヲ設  
ケ三方ヲ裁断レ一方ヲ記錄頭刻印ノ地位ト為

ス

版

一各種ノ画紋相同キヲ以テ描改ノ弊アリ

每種其画紋ヲ異ニシテ描改ノ防キ種類ノ區別ヲ  
判然タラシムヘレ

一地紋緻密ニ過ケルヲ以テ肉眼ニ辨知シ難ク却テ  
實造、欺罔ヲ受タルノ弊アリ

大文貞良

各國楮幣、體裁ヲ取捨レ其緻密ト微妙ハ表面ニ於テ盡クレ裏面ハ唯適宜ノ細紋ヲ圓形或方形等ニ裝飾シ中央球形中ニ一種ノ機械ヲ以テ大歲省、文字ヲ彫刻シ務メテ餘白ヲ多クレ紙質ノ真質鑒定ニ便ナテシムヘシ  
一金貞位置ノ文字簡略ニシテ小ニ過キ且白字ナルヲ以テ金貞ノ多少ヲ明知セレムルト功薄ノ塗抹描改ノ弊アリ

金員位置、文字ハ黒字ヲ以テ之ヲ大書、字体  
ヲ著明ニシテ以テ塗抹描改ノ弊ヲ防キ又四隅  
ニ金員ノ數字ヲ置キ調査ノ便ヲ與フ

形  
刻

一 原 版 ハ 唯 一 種 ハ 機 械 ヲ 以 テ 製 造 レ タ リ 故ニ 質 造

原版ハ二種ノ機械ト數工ノ伎俩ヲ以テ製造シ  
之ニ暗章秘點ヲ鷄頭レ其人ニ非サレハ得テ模  
鷄頭紙ハサラン

一拾銭ヨリ百圓ニ至ル九種、地紋ハ各相異ナル。モ  
第一標目トスル金員ヲ印刷スヘキ表面黒色ノ画  
紋ハ何レモ同紋ニシテ僅ニ四種ノ原版ヨリ成立  
ツ處即チ一百圓ト五拾圓、貳拾圓ト五圓、貳圓ト壹圓  
五拾銭ト貳拾銭拾銭同ニ寸法者ハ一種ノ原版  
二字ノ銘換ナリ故ニ唯目擊スル處ハ失ナレ民實  
際製造方ニ於テハ甚ダ粗ナリ

画 紹 地 模 株 ハ 各 種 其 体 戒 ナ 異 ニ レ 一 種 每 ニ 一  
種 每 ニ 一 種 ノ 原 版 ヲ 製 造 レ 以 テ 精 良 ナ 盡 ス ヘ

肉

一 刷肉ノ質堅牢ナラス普通、漿汁ニ浸エスト僅ニ三時間タ経サルモ色ヲ変シ或ハ消滅ス

今製造レタム刷肉ノ堅牢ナレ其色ヲ変セス又消滅セス

スリ四十八時間ナレ其色ヲ変セス又消滅セサル者ヲ用エ

一 各種其色ヲ異ニスルモ相近似スルヲ以テ日光ニハ能ク之ヲ辨别シ得ベレト雖モ燈火ニハ辨别シ難キモノアリ故ニ金貞描改、弊アリ

各種其色彩ヲ異ニシ相近似セサル者ヲ用ヒ以テ描改ノ弊ヲ防クヘレ

一一種、色彩ヲ各種、表裏ニ互用ス故ニ人目ヲ迷

サレヘル、弊アリ

表面地紋ノ色彩ハ各種其色ヲ異ニシ其種類ヲ辨知シ易カラムメ裏面ハ各種同色ヲ用エ

一 押印肉ハ堅牢ヲ主トレテ精製シ先札ニ用ヒタリト雖モ普通、漿汁ニ五六時間浸入スレハ或ハ消滅スル、患アルヲ免カレス

アンチセル、晴ニ癸明セシ種々ノ化粧上ヨリ

轉變レテ成レ所ノ安全肉ニシテ押印、後之ニ

一、漿汁ヲ抹スレハ忽然其色ヲ變化シ真贋検査、便ヲ得ル要法ヲ存レ又別ニ著色力堅固、工夫ヲ案レ此強質ヲ含有セシメタルヲ用フ

雜件

一番記号ノ位置宜シキヲ得ス故ニ之ヲ堅ニ分裂ス

太政頭典

レハ照會ノ術ヲ失ヒ其功全ク欠ケリ  
記号ノ位置ヲレテ天地反對セシメ縦横ニ分梨  
スルモ照會ノ便ヲ失フノ弊ナカラニムヘレ  
紙幣雖形解

一中央ニハ菊ノ御紋ヲ記シ其右方ニ桂枝ヲ画キ名  
譽ノ意ヲ表シ左方ニ櫻枝ヲ画キ威權ノ意ヲ示シ  
併セテ邦家ノ安寧堅固ヲ祝ス

一上ニ九ツノ星ヲ記ス是ハ皇國畿内七道及北海道  
ノ九道ニ象シ

一星中ニハ大日本帝國政府紙幣ノ文字ヲ記ス  
一右ニハ神功皇后ノ尊像ヲ置ク為ニ餘白ヲ存セ  
リ而シテ其周圍ハ九道ヲ記シ以テ之ヲ飾ル

一左ニ大蔵卿ノ官印ヲ置キ其傍ニ出納局長ノ官印

ヲ記ス而シテ下ノ画紋ノ中心ニ質造者ヲ署スル  
ノ國法ヲ記ス

一大蔵卿官印ノ圓形ハ大蔵省ノ文字ヲ刻ス

一四隅ニ金額ノ數字ヲ記ス是ハ大數疊不タル紙幣  
ヲ検査スルニ易カラシムルヲ要ス四方數字ヲ並  
列シ上頭及左右ニ圓ノ字ヲ刻ス

一裏ノ画紋ハダレノ彫刻ヲ用ヒ紙質ヲ能ク辨知シ  
易カラシムルヲ要ス

一中央ニ球形ヲ置キ中ニ大蔵省ノ文字ヲ一ノ彫刻  
法ヲ以テ記レ其左右ニ日本字又洋字ニテ價ヲ記  
シ周圍ニハ英文ニテ日本帝國紙幣ノ文字ヲ表記

一断裁ニハ記録局長ノ刻印ヲ記ス則チ半ハ紙幣上

ス

二殘り半ハ記録ニ存ス

調査局議案 法制局

別紙大蔵省同改造紙幣難形、儀審案候處紙幣改造  
大交換着手、儀ハ曾テ御允許相成候ニ付同、通御  
聞届相成可然尤難形表面中心ニ質造者ヲ罰又九文  
字中辨シ互市ニ、五字ヲ相省キ此紙幣ヲ質造シ或  
ハ質造ト知テ通用スル者ハ國法ニ處スヘレト相改  
且神功皇后尊影ヲ想像模寫シ鑄入致度趣ニ候ハ共右  
八主上御寫真購入候方可然ト相考候因テ御指令  
案ヲ付し仰高裁候也 四月四日

五月二日

奉

改造紙幣ヘ鑄刻ノ爲メ聖上御親佩ノ勳章圖ヲ大蔵省  
ヘ下付久

大蔵省同

今般改造可相成紙幣表面中央上頭ハ聖上御親佩  
ノ賞牌鑄刻ノ積ヲ以テ難形ハ右畧圖相認置候ハ氏  
同、節右譯書遺漏仕候間前頭、通鑄刻御制可可相  
成儀ニ候ハ、古繪圖御貸下相成候様賞勳局ハ御達  
相成度典段相伺候也 大蔵 七月四日

同、通勳章繪圖貸下儀、賞勳局ハ相達候事 五月  
賞勳局議案 大書記官歷查

別紙大蔵省上請紙幣表面ハ勳章模形印刷、儀各議  
定官於テセ原案同意更ニ異論無之候條御裁可相成